

2018年3月期第2四半期 決算IR説明会 質疑応答概要

株式会社メイテック

1. 日 時 2017年11月7日(火) 16:00~16:40

2. 場 所 コンファレンススクエア Mプラス 10F

3. 質 疑 応 答

質問 メイテックフィルダーズの採用が順調という印象だが、その理由は？また、メイテックは中途採用に苦戦している印象だが、メイテックフィルダーズの手法をメイテックで活かせるのかどうかについて伺いたい。

回答 今回の中期経営計画でメイテックフィルダーズは、幅広い業務領域で対応できる状態を作っていくということを大きなミッションとして取り組んでいます。これに伴い、従前の機械系、電気系のみならず、制御系、情報システム系を含めて幅広い業務領域に対応できるよう、応募者志向を捉て様々な工夫をこらしながら、エンジニアとしての働き方を訴求し採用活動を進めていることが大きな要因です。

これをメイテックに上手く流用できるかですが、メイテックグループは、グループとして「エンジニアという働き方を生涯にわたって出来る」「雇用が維持された状態で成長セクターや新しい技術開発に携われる」ということを労働市場に訴求させていただいており、その中での今回のメイテック、メイテックフィルダーズの結果ですので、今後もグループ全体として労働市場に訴求していきたいと考えております。

質問 メイテックフィルダーズの分野別構成比が資料(説明資料 44P)にて説明されているが、先ほどの幅広い業務に対応するための採用を行っているということからすると、制御系やIT系分野の社員が増えているという理解をしてよいか？

回答 特定分野が増えているというより、5つの専門分野全体で人数が増えています。

質問 メイテック、メイテックフィルダーズともに退職率見込みが悪化しているようだが、その背景は？

回答 エンジニアであれば、絶えず自分の技術力を磨く、或いは新しい技術領域にチャレンジできるということが大きな満足感に繋がると思います。それを実現しつつ、退職率の低減を図っておりますが、やはり、一定程度はやむを得ないところがあり、今回は、上半期の実績を踏まえて若干修正しました。

質問 メイテック、メイテックフィルダーズともに高い稼働率だが、稼働率が高すぎると戦略的ローテーションが実行し難くなるのではないかと？

回答 流動性が全く無い状況の中での高い稼働率ではありませんので、特に問題はありません。高い稼働率の状況においても、契約開始、終了を計画的に行い、流動性を保ちながら戦略的ローテーションを実行できております。

質問 採用状況（説明資料 15P）において、新卒は地元への就職志向が強く、応募者数の確保に苦戦しているとのことだが、それに対して工夫していることは？

回答 メイテック、メイテックフィルダーズともに全国のお客様と取引がある状況において、エンジニアとして働く環境をしっかりと伝えると共に、確実にアウトプット、パフォーマンスを高め、お客様との信頼関係が築けていれば、むやみに勤務地を変わることはない、といった事実をしっかりとお知らせしています。

以上